



2010～2011 年度
R I テーマ

Building Communities - Bridging Continents
地域を育み、大陸をつなぐ

地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー会長

レイ・クリングスミス (国籍・米国)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12 時 30 分
ところ トキハ別府店 7 F 別府商工会議所大会議室
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町 1 番 1 号 青山通りビル 3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事 木村きぬゑ
〳 亀井 孝
〳 河村 貴雄
〳 村津 忠久

理事 津末美代子
〳 大島由美子
〳 高宮 勝美

役員 会長 木村きぬゑ
副会長 亀井 孝
幹事 後藤 隆
会計 河村 貴雄

S A A 近藤 賢司
直前会長 近藤 賢司

VOL. 23 - 7
2010 年 8 月 17 日

第 1015 回 例 会

会報委員長 衛藤 秀子

◆点 鐘 12 : 30

◆体 操 自律神経強化体操

◆R S 手に手つないで

◆唱 歌 海

◆B. G. M 「ジャズダンス・ミュージック」より
A 列車で行こう
ビギン・ザ・ビギン
ムーンライト・セレナーデ 他

◆ゲ ス ト 木下光一氏
(国際ロータリー第2720地区ガバナー)
後藤憲志氏
(国際ロータリー第2720地区大分第3分区ガバナー補佐)
橋本 均氏
(国際ロータリー第2720地区副幹事)

◆出席報告 出席委員長 大島由美子

本日 の 出 席	会 員 総 数	21 名
	出 席 者	19 名
	事前メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	1 名
前 々 回 の 訂 正	欠 席 数	1 名
	出 席 率	95 %
	出 席 率	88.89 %
	事後メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
8/3	出 席 免 除	1 名
	修 正 出 席 率	88.89 %

連 続 - 回
通 算 739 回 100 %

・メイクアップ

事前
事後
欠席 梶田
出席免除 溝部

会長の時間

会長 木村きぬゑ

本日は国際ロータリー第2720地区木下光一ガバナーと第2720地区大分第3分区ガバナー補佐の後藤憲志両氏をお迎えての公式訪問です。みなさんよろしくお願いたします。

例会前、11時30分よりガバナーとの会長幹事懇談会がありました。その折ガバナーより「会員の減少に歯止めをかけましょう」とのアドバイスを頂きました、また「会長になって何か思うことは

ありませんか」と聞かれましたがお答えできませんでした。まだまだ会長としての自覚が足りないなど反省いたしました。一層頑張りたいと思っています。

本日は木下ガバナーのガバナーアドレスをじっくり聞いて頂きたいと思います。



幹事報告

幹事 後藤 隆

一会員増強および拡大月間一

…本日は「木下光一ガバナー公式訪問例会」を
開催致します。…

1. 本日の卓話

『ガバナーアドレス』

国際ロータリー第2720地区ガバナー

木下 光一 氏

2. 本日のゲスト

木下 光一 氏

(国際ロータリー第2720地区ガバナー)

後藤 憲志 氏

(国際ロータリー第2720地区大分第3分区ガバナー補佐)

橋本 均 氏

(国際ロータリー第2720地区 副幹事)

3. 2012-2013年度RI会長指名のお知らせ

埼玉県、八潮ロータリークラブ会員の田中作次氏が、指名委員会により2012-13年度の国際ロータリー会長に選出されました。対抗候補者がいない場合、同氏は10月1日に会長ノミニーとなります。

4. 「2010-2011年度地区ロータリー財団セミナー」開催のお知らせ

日 時 平成22年9月18日(土)

13:00～16:30

場 所 大分文化会館 第一小ホール
(大分市荷揚町4番1号 ☎097-432-1295)

出席義務者 ガバナー補佐、R財団委員長、他希望者

*参加を希望される方は、幹事または事務局までお申し出下さい。

5. 本日11:30～別府商工会議所議員サロンに於いて、「ガバナーとの会長・幹事懇談会」が開催され、木村きぬゑ会長、後藤 隆幹事が出席致しました。

6. お祝い

配偶者誕生日 堀 誠 さん (8月17日)

高宮貴子さん (8月23日)

※記念品をお渡し致します。

7. 例会変更のお知らせ

別府東RC 8月26日(木)の例会は、夕涼みビアガーデン例会の為 同日18:30～別府ホテル清風に時間・場所変更

8. 次週の予定

「会員卓話」 梶田健治会員

「会員コラム」 高宮勝美会員

9. 本日の回覧

①「第1回家庭集会」出・欠席 (8月26日)

②「第1回別府中央ロータリークラブ親睦ゴルフコンペ」出・欠席 (9月5日)

③「ソフトボール練習 日程」出・欠席

10. 本日の配布

①ロータリー探究:

「青少年の健全育成について思う」

鳴海淳郎R情報委員長より

②週報No.1014

③「ロータリーの原点とは」

木下光一ガバナーより

スマイルボックス

委員長 森 宗明

○国際ロータリー第2720地区ガバナー 木下光一氏

○大分第3分区ガバナー補佐 後藤憲志氏

○木村会長

今日は始めから上がりっぱなし。木下ガバナー、後藤ガバナー補佐、よろしく御指導下さい。

○後藤会員

木下ガバナー、後藤ガバナー補佐、橋本副幹事のご来会に感謝してスマイルします。

○鳴海会員

本日は木下ガバナーの公式訪問をいただき、有難うございます。よろしくお願ひします。

また、最近発行しました『わたしのロータリー・ライフ』をロータリー文庫の100冊をはじめ、各方面にお送りしたところ、早速南園前RI理事をはじめ、あちこちからお褒めの言葉や励ましの言葉をいただき、ロータリーならではの感動にひたっております。

以上、よろこんでスマイル致します。

○村津会員

木下ガバナーの公式訪問に感謝してスマイル。

○近藤会員

本日は私の住居と同じ南立石一区よりガバナーとなりました木下光一 R I 第2720地区ガバナーの公式訪問に南立石の住人として大歓迎致します。

○亀井会員

木下ガバナー、後藤ガバナー補佐、橋本副幹事様、ようこそ中央RCへ。色々ご指導よろしくお祈りします。

○森会員

本日もたくさんのスマイルありがとうございます。

○平野会員

木下ガバナー、いらっしゃいませ。暑い中をようこそ。何が巡り合わせか、木村会長と木下ガバナーが隣同士で不思議な御縁にスマイル。

○河村会員

木下ガバナー、後藤ガバナー補佐、橋本副幹事様、ようこそ我がクラブへ。ご指導の程、よろしくお祈りします。

○中尾会員

木下ガバナー、後藤ガバナー補佐、橋本副幹事、今後ともよろしくお祈りいたします。

○衛藤会員

残暑が続きますね。

今日は木下ガバナー様、後藤様、橋本様、ようこそありがとうございます。木下ガバナー様に敬意を表して即興で一句。

空澄めり秀嶺由布のごときかな

木下ガバナーのお人柄を詠ませて頂きました。おそまつ様。

ガバナーアドレス



ロータリーの原点とは

RI第2720地区ガバナー
木下 光一

今年度私たちの地区では「原点を見つめて未来を拓く」というテーマを

掲げました。それは世界の中で日本のロータリーが突出して会員が減っている、特に新しい会員が入らない、入っても定着しないで辞めてしまうという特徴的なことに対してどうするべきかと考えた結果です。ロータリーの本質を理解しないままに多い会員が多いことが全ての原因ではないかと思えます。やみくもな会員増強もロータリーの本質を理解していないことが引き起こしたことです。ロータリーの本質を学んでその魅力を知っている会員はロータリーに相応しい人しか誘いません。ロータリーは本当に素晴らしい魅力を持った、まさにロータリーマジックと言われる私たちの宝物です。ここでその魅力を紐解いてみましょう。

ロータリーは人生哲学であると言われます。それは例会でよく歌われるロータリーソングの題名にもなっている「奉仕の理想」という言葉に凝縮されています。奉仕の理想とは何でしょうか？これ一つにしてもきちんと勉強しないとよくわかりません。奉仕の理想とは人や社会のニーズをよく汲み取って、そのニーズを理想的な形で満たすことです。そしてこれを生活の場すべてに適用して行くように努力しようということです。これがロータリーの目的であって綱領として謳われていることです。そしてここから四大奉仕の全てが導かれて来ます。ロータリーでは親睦が重視されていますがこれはあくまでも奉仕活動がより良く行われるためであり、親睦と奉仕は切り離すことができません。また共に行なう奉仕活動が親睦を更に深めることが含まれています。これを支えるのが職業分類制度です。職業分類制度によって会員はクラブに対しては自己の職業の代表者という責務を負うと同時にロータリアン以外の人に対しては日常の仕事を通してロータリー精神を普及する責務を負うことになります。

つぎにロータリーのモットーに行ってみましょう。



「もっとも良く奉仕する者、もっとも良く報いられる」という有名なものですが、これはA.F.Sheldonが成功している企業を研究して導き出したものです。常に他人の立場を考えて他人のためになるように尽くすサービスを実践している者が成功を収めるというもので、ここから職業は社会に奉仕する手段であるという考え方が出て来ます。

もう一つのモットー。「超我の奉仕」です。これも同じような意味を持っていますがより広く社会奉仕や国際奉仕に繋がって行くものです。

ロータリーはこのような人生や職業に関する基本的な考え方や態度について指針を与えてくれるものです。ここでもう一つロータリーの原点として忘れるわけには行かないものをお示しします。これも有名な決議23-34と言われるものです。激しい論争の末、ロータリーとは何かをきっちりと定義したものであるため是非読んで理解をして頂きたいと思います。要点をお話しします。

- 1 ロータリーは一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と他人のために奉仕したいという感情の間の矛盾を調和させようとするものである。
- 2 ロータリークラブはそれぞれのロータリアンが独自の方法で事業、専門職業の代表としてロータリーの奉仕の哲学を受け入れ、次の4つのことを目指している人々の集りである。
 - a. 奉仕の理論が職業及び人生における成功と幸福の真の基礎であることをクラブとして学ぶこと。
 - b. その実際例をクラブで示すこと。
 - c. 各人が個人としてこの理論をそれぞれの職業及び日常で示すこと。

d. 個人として、またクラブとしてこの考え方を普及させ、ロータリアン以外にも普及を図ること。

- 3 ロータリアン個人もクラブも奉仕の理論を実践しなければならない。
- 4 各ロータリークラブは綱領に基づく活動を自主的に行なう権利を持っている。RIは各クラブに対して命令や禁止をすることはできない。

この決議23-34はロータリーの綱領に基づく全ての活動の指針であると同時にロータリーの奉仕の哲学を表す唯一の文書です。

ここまでお話して来たことがロータリーの原点と考えています。この精神を学び、実践すればロータリーを自らになくしてはならないものとするロータリアンが増えることを確信しています。クラブで魅力的な例会が行われ、例会に参加することが待ち遠しい。地区に行っても素晴らしい人たちがいて、自分もあのようになりたいと思う。そこからこんな素晴らしいロータリーにあの人を誘おうというように自然に会員増強が進むことを期待しています。そういう例として我が2720地区から出られた元RI会長向笠先生が言われた言葉を紹介して私の話を終わりたいと思います。「私は自分をロータリークラブに誘ってくれた友人に本当に感謝しています。あんなに断り続けた自分をあきらめずに誘い続けてくれたことに。」そのご友人はきっとロータリーの何たるかをよく知っておられたのだと思います。

ありがとうございました。

